県政ティーミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

（令和８年６月11日開催）

１　開催概要

開 催 日	令和８年６月11日(木)　16:30～17:30
会　　場	県庁３階　特別会議室
参加グループ	信州そるがむで地域を元気にする会
懇談内容	「おいしい信州＋やさしいエネルギー」 ～ソルガムで築く、世界情勢に負けない長野県の持続可能モデル～

２　参加者のご意見の概要とご意見に対する対応状況

（１）食に関することについて

（ご意見の概要）

・県と一緒に食育を進めていきたい。(認知度向上を目的とした、地域と関わりながら栽培から食すまでの授業教材としてソルガムを使用)

（担当課の発言）

・今後はソルガム等も取り込んでいけるように検討したい。

【農産物マーケティング室】

・地場産物の活用や、食育の推進は重要な施策。学校給食において活用事例の中で紹介できる。

【保健厚生課】

（ご意見への対応）

・提案の趣旨を踏まえ、「信州を味わう日」など、機会を捉えたPRを検討してまいります。

【農産物マーケティング室】

・学校給食の献立作成及び食材選定は各自治体が行っているため、県から特定の農産物や生産団体を紹介することは困難です。ソルガムの活用については、生産地域の学校設置者（市町村教育委員会）に御相談ください。
・ソルガムを活用した取組が優れた実践事例となった場合には、栄養教諭等を対象とした研修会等で紹介することが可能です。

【保健厚生課】

（２）ソルガムの生産・消費（流通体制）について

（ご意見の概要）

・連作をすると収穫量が減ってしまう。肥料等の工夫に専門的な見地を持つ方たちに協力していただきたい。
・収穫が手作業なことが課題。
・米作は耕作の体系がしっかり出来上がっているが、ソルガムは体系ができてないことが課題。
・エネルギー用とか食品用のソルガム研究を畜産試験場で協力いただけないか。
・ソルガムの商取引を大手企業に広げるには生産量の確保が課題。出口となる消費が拡大すれば生産は広がるが、消費拡大が課題となっている。
・ソルガムに限らず雑穀に関する課題として、流通と加工、営業、生産がバラバラに動いている点があり、関係者のネットワーク作りに協力いただきたい。

（知事の発言）

・消費拡大については、出口と入口をセットでやっていかないといけない。

（担当課の発言）

・飼料用については、畜産試験場で一定の知見がある。

・そばや大豆を収穫する機械を使用することできる。

【農業技術課】

（ご意見への対応）

・農業農村支援センターを中心に、畜産試験場の知見も活かしながら生産現場での栽培技術の指導など生産を支援してまいります。

・畜産試験場において蓄積された飼料用ソルガムに関する知見を活用し、生産現場における栽培技術等について助言してまいります。

【農業技術課】

・ソルガムの消費ニーズの発掘・拡大に向けて、ソルガムの新たな商品開発が可能なプロジェクト（地域型食品企業等連携促進事業）への参加を提案してまいります。

【農産物マーケティング室】

（３）エネルギー利用について

（ご意見の概要）

・バイオマス発電にソルガム由来の燃料をを供給する仕組みを作っていただきたい。

・エネルギー利用という点では量の確保が重要になる。現状では量が不足していることが課題。

・バイオマス発電所の建設場所に関する情報提供をいただきたい。なお、発電所は迷惑施設と思われることも問題。

（知事の発言）

・バイオマス施設に限らず、土地利用を考えるときには総合的に考えないといけない。

（担当課の発言）

・発電コストの問題があり、価格競争力を持たせるためには、食としての需要を喚起し生産量を増やすことが必要。

【ゼロカーボン推進課】

（ご意見への対応）

・農業農村支援センターを中心に、畜産試験場の知見も活かしながら生産現場での栽培技術の指導など生産を支援してまいります。

【農業技術課】

・バイオマス発電所の建設には、技術面・経済面の検討に加え、地元の理解醸成や関係法令に基づく適正な手続きが不可欠です。具体的な事業計画に基づき、必要な助言や支援を行ってまいります。

【ゼロカーボン推進課】

（４）農福連携について

（ご意見の概要）

・ソルガムは生産にかかる作業が単純で、グルテンフリーでもあるため、福祉団体の方からやりたいという声もあがっている。農福連携の一つ選択肢として、ソルガムを広げていただきたい。

（知事の発言）

・農福連携のベースとなる作物としてソルガムもあるのではないかということを、様々な人と共有してもらっていると思う。

（ご意見への対応）

・農福連携については、「農福連携技術指導員」等を通じ、福祉事業所に対する情報提供や生産技術の指導を行ってまいります。

【農村振興課】

・農福連携全国都道府県ネットワーク事務局として、各都道府県に情報共有させていただくとともに県内においてソルガムを生産している福祉事業所の好事例を横展開してまいります。

【障がい者支援課】

（問合せ先）
担　当　企画振興部広報・共創推進課
　　対話・共創推進係　片瀬、小林
電　話　026-235-7110
E-mail　kyoso@pref.nagano.lg.jp